

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

1065

林道管理等森林保全事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	4	農業と環境の共生

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農林緑花費		
	目	林業振興費		
	大事業	林業振興事業		
中事業	林道管理等森林保全事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 農林水産課 佐々木 茂彰 435-1049
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	林道の管理等による森林の保全		林道の管理等による森林の保全			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		<ul style="list-style-type: none"> 林道草刈等維持管理 森林保全関係者への負担金の支出 森林関係研修会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 林道草刈等維持管理 森林保全関係者への負担金の支出 森林関係研修会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 林道草刈等維持管理 森林保全関係者への負担金の支出 森林関係研修会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 林道草刈等維持管理 森林保全関係者への負担金の支出 森林関係研修会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 林道草刈等維持管理 森林保全関係者への負担金の支出 森林関係研修会への参加

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,258	2,010	2,947	2,947	4,769	9,440	2,890	0	2,890	0
伸び率(%)	△18%	△32.9%	△9.5%	46.6%	61.8%	220.3%	△39.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,054	1,829	1,915	3,669	2,318	5,275	6,154	0	6,154
	正規職員以外	0	0	250	2,398	0	4,747	2,382	0	2,382
	小計	4,054	1,829	2,165	6,067	2,318	10,022	8,536	0	8,536
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	5	5	5	5	916	652	36	0	36	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	3,253	2,005	2,942	2,942	3,853	8,788	2,854	0	2,854	0
所要人数(人)	正規職員	0.51	0.23	0.24	0.46	0.29	0.66	0.77	0.00	0.77
	正規職員以外	0.00	0.00	0.10	0.96	0.00	0.96	0.00	0.00	0.96
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 1,596千円 所々修繕料972千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
林道修繕件数		件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	4		
			達成度(%)	100%	100%	200%	0%	%
草刈等活動参加者数		人	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	30	30	35		
			達成度(%)	60%	60%	70%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	森林の保全、林道の整備、維持管理等が引き続き必要なため。
見直し・改善内容	市内に19路線ある林道は、大雨や台風等の被害により壊滅的な状況となることが多く、今後は森林譲与税等を活用し、未然に防除する措置等も検討したい。